

[鈴木大介 2 days]

2日目

鈴木大介
guitar

田口悌治
guitar

2018 11月25日(日)

開場 14:30

開演 15:00~

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 2800 円 + 2drinks order

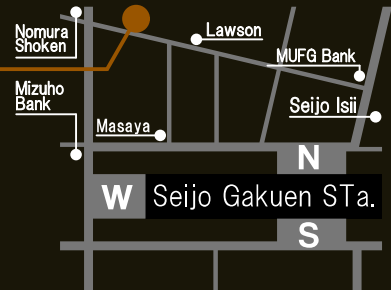
CAFE BEULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



鈴木大介

作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、新しい世代の音楽家として常に注目され続けている。マリア・カナルス国際コンクール第3位、アレクサンドリア市国際ギター・コンクール優勝など数々のコンクールで受賞。現代音楽の初演や、アンサンブルとコンチェルトの膨大なレパートリーでの、明晰な解釈力と洗練された技術は、多方面からの評価を確立し、難度の高いプロジェクトにおけるファースト・コール・ギタリストの位置を維持している。これまでに、池辺晋一郎、西村朗、猿谷紀郎、和田薫、伊左治直、各氏らほかの作曲家からギター協奏曲を含む多くの作品の初演を依頼されている。2013年にはサントリー・サマー・フェスティバルにおいて、野平一郎作曲「エレクトリック・ギターとオーケストラのための炎の弦」を演奏、またソリストとして参加した東京シンフォニエッタによるCD「天女散花」はレコードアカデミー賞現代音楽部門を受賞した。

田口悌治

12才からギターを始め、17才よりヤマハ講師や演奏等プロ活動を始め。18才で上京、武蔵野音楽学院に入学。ギター、理論、アレンジを学び、その後都内でライブ活動を開始するジャズ以外にも活動の幅は広く、谷川俊太郎氏の詩をモチーフに行われたコンサート、名古屋フィルのコンサートマスター後藤龍伸氏(vln)とのユニット、その他国内外多数のツアーに参加。97年渡米、NYに滞在しライブ活動を行う。2003年ニューヨークでスティーヴ・ラ・スピナ(b) デヴィッド・キコスキー(p) アダム・ナスバウム(ds) シーマス・ブレイク(sax)とレコーディングを行いCD『Out of The Line』発売。2015年ロシア「ウラジオストク国際ジャズフェスティバル」に出演。2016年銀座ヤマハホールで行われた武満徹没後20年企画「武満徹へのオマージュ」に出演他にリーダーアルバム『First Mission』『One Four Seven』『Moment's Notice』『Zephyr』『With The Wind』『P's Dream』 活水女子大学音楽科非常勤講師